



2023年4月14日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役社長 小塚 英一郎
(コード番号 7719 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理担当 石見 紀生
(TEL. 042-851-6027)

特別損失の発生および業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年2月期連結会計年度において下記のとおり特別損益を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2022年4月14日、同年7月15日および2023年3月8日に公表いたしました2023年2月期通期連結業績予想（親会社株主に帰属する当期純利益につきましては「未定」としていました。）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損益の発生およびその内容

2023年3月8日付「特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しました2023年2月期第3四半期連結会計期間において発生した特別損失については、2023年2月期通期連結会計期間においては、以下のとおりとなっております。

(1) 第三者委員会の設置および過年度決算訂正に伴う関連費用の計上

第三者委員会の報酬および各種調査費用ならびに同委員会の調査結果に基づく過年度決算訂正に係る監査費用等について、第3四半期においては、訂正関連費用引当金繰入額276百万円を特別損失に計上しておりましたが、通期においては、訂正関連費用引当金繰入額と過年度決算訂正関連費用に分けて以下の金額を特別損失に計上いたします。

(連結) 訂正関連費用引当金繰入額 50百万円

(連結) 過年度決算訂正関連費用 223百万円

(2) 商事事業の売掛代金債権に係る貸倒引当金の計上

第3四半期においては、商事事業の販売先に対する売掛代金等の未回収債権405百万円全額を貸倒引当金繰入額に計上しておりましたが、通期においては、第4四半期に発生した未回収債権および遅延利息を加えた以下の金額を特別損失に計上いたします。

(連結) 貸倒引当金繰入額 518百万円

2. 業績予想数値と実績値との差異

(1) 2023年2月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,100	170	155	未定	円 銭 未定
実績値(B)	3,054	65	111	△698	円 銭 △98 01
増減額(B-A)	△45	△104	△43	—	—
増減率(%)	△1.5	△61.7	△28.1	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2022年2月期)	4,039	198	255	121	円 銭 17 05

※ 前年同期実績の数値は、2023年3月8日に行った過年度決算訂正後の数値であります。

(2) 差異の理由

売上高は前回予想を若干下回るにとどまったものの、営業利益および経常利益につきましては、試験機事業およびエンジニアリング事業において原材料価格の高騰に対して価格転嫁が遅れたことなどにより前回予想を大きく下回りました。また、営業利益が経常利益よりも少ないのは、第三者委員会の調査の結果に基づき、商事事業の取引のうち実質金融取引など正常の商取引とは異なる取引と判定したものについて、当該取引による収入を受取手数料として営業外収益に計上したことによります。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想の際に、上記の第三者委員会の設置および過年度決算訂正に伴う関連費用の計上、商事事業の売掛代金債権に係る貸倒引当金の計上ならびに決算の状況等を踏まえて業績予想の修正が必要になると見ておりましたが、2023年2月期本決算の集計作業を併せて行って数値を固めることが困難であったため「未定」とさせていただきます、本日の決算発表と同日に開示することとなりました。

以 上